



わかば

2018. 8. 18
第18-16号
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

重点目標 一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～

転入生は少しずつ増えてきています。・・・学校は、学力と社会性の育成の場

7、8月に7名の転入者がありました。これまでの31名の転出者数を補うほどの数ではありませんが、7名の新しい子どもたちを迎えることができ、嬉しい限りです。内訳は表のとおりです。

さて、学校はやはり何と言っても「勉強と子ども」です。多くの子どもたちの賑わいは、学校に活力をもたらします。子ども同士が、多様な考え方や見方を見たり聞いたりしながら学び合うことは、学習の活気、授業の活気となり、学校の活力ともなります。

また、学校は、「他人同士の集合社会」ですので、多様な価値観や考えに接したり、時には摩擦を起こしたりしながら、知識や技能などの狭義の学力だけではない、これから生きていく上での社会性や人間関係力、コミュニケーション力を培っていく場でもあります。

多くの人との出会いは大事です。転入者が増えていき、ますます学力と社会性を育むことができる学校になっていくことを願っています。

転入実績(7, 8月)			
○小学部	1年	1名	1-2
○小学部	2年	1名	2-2
○小学部	3年	1名	3-1
○小学部	4年	1名	4-1
○小学部	5年	1名	5-2
□中学部	1年	1名	
□中学部	2年	1名	

転入予定(9月1日頃)			
○小学部	2年	2名	
○小学部	3年	1名	
○小学部	5年	2名	



学びの環境の工夫・・・新聞コーナー(高等部)、学級文庫、教室外の調べ学習(小学部)



7月に高等部1年の教室を訪問したときは、国語科学習の一環でしょうか、テーブルいっぱい日本の新聞が置かれていました。担任の先生が準備、持参されたようです。

また、先週は1年の教室に「がっきゅうぶんこ」のコーナー(写真 左)がありました。そして、3年1組、2組は時間を調整して、カフェテリアの図書コーナーで国語の調べ学習をしていました。(写真 右)

先生方は、子どもたちが意欲的な学びができるように、いろいろ学びの環境の工夫を凝らしています。

夏から秋にかけては、行事の季節・・・バザーや商工会ボランティア活動のお知らせ

日本では、夏休みを終えた2学期は、何かと学校行事や地域行事が多くあります。一番の理由は、雨が比較的少なく、暑さが和らぐためかと思いますが、今年の猛烈な暑さでは企画、運営は大変かと思えます。

さて、恒例のバザーや商工会ボランティア活動が行われます。バザーについては、先週別途ご案内しましたが、商工会ボランティア活動については、今回のわかば16号に添付しご案内いたします。



児童生徒の作品紹介 X

今回は、1年生のひらがなの作文、2年生の作文(旅行)、6年生の報告文(社会科見学)を紹介します。 校長 信國寿敏

か	し	そ		
ら	ふ	ぶ	ぼ	
で	で	の	く	た
す	た	が	は	し
	い	す		ろ
	せ	き	ゲ	
	ん	で	ー	ゆ
	で	す	ム	う
	き		で	と
	る	ち	あ	

1 すきな こと、なかに
すきな こと、その わけを かきましよう。
なまえ たしろうと

1ねん たしろうと

か	き			
た	で	ぼ	や	
の	す	く	く	
し	た	は	し	
い	た	が	じ	
が	た	ガ		
ら	か	ー	そ	
で	う	ム	う	
す	こ	が	た	
	と	す		

1 すきな こと、なかに
すきな こと、その わけを かきましよう。
なまえ やくしじそうた

1ねん やくしじ そうた



す	や	あ		
き		そ	ほ	
で	わ	ぶ	く	お
す	け	こ	は	か
	る	と		だ
	こ	ガ	ゲ	
	ど	す	ー	け
	が	き	ム	い
	だ	で	で	と
	い	す	あ	

1 すきな こと、なかに
すきな こと、その わけを かきましよう。
なまえ おかだけいと

1ねん おかだ けいと

か	お	そ		
ら	と	ぶ	ぼ	な
で	も	こ	く	か
す	だ	と	は	む
	ち	が		ら
	と	す	ゲ	
	あ	き	ー	ま
	そ	で	ム	さ
	べ	す	で	し
	る		あ	

1 すきな こと、なかに
すきな こと、その わけを かきましよう。
なまえ なかむらまさし

1ねん なかむら まさし



い	せ	き		い
で	ん	で	し	じ
す	で	す	く	も
。	。	。	し	と
	る	ふ		
	か	た	が	ゆ
	ら	り	し	う
	た	で	ん	だ
	の	た	か	い
	し	い	す	

1 すきなこと、なかに
すきなこと、そのわけをかきましよう。
ふじもとゆうだい

ん	と	の		
が	が	お	わ	
と	す	も	た	お
れ	き	ち	し	お
る	で	や	は	い
が	す	で		し
ら		あ	け	
で	し	そ	い	り
す	や	ぶ	た	こ
。	し	こ	い	

1 すきなこと、なかに
すきなこと、そのわけをかきましよう。
おいしいりこ



1ねん ふじもと ゆうだい



1ねん おおいし りこ

6月9日付、わかば第9号で絵の入った25マスの1年生のひらがなの作品を紹介しました。あれから約二カ月が経ち、今回は、絵のないマスが2倍に増えた50マスでひらがな、カタカナを書いています。たどたどしい文字だったのが、今はマスの中にしっかりとおさまり、形のとれた文字となってきました。家庭学習や教室での学びの成果が着実に現れてきています。1年生は、教れば教えるほど顕著な伸びを示し、教育の力や教育することの面白さ、楽しさがあります。

名前 (リーベンジャミン)
六月二十二日 金曜日
ぼくはカゾクといっしょにパリに行きました。ルーブルびじゅつかんでモナリザを見ました。絵には、女のおかがあります。まゆ毛がなく、なにかを考えているようなかおです。絵のまわりには金がかくがあります。ぼくは、とてもきれいな絵だと思いません。いっしょうわすれません。



いつもは打ち換えています、今回は写真転写しました。それは、1年生が2年生ともなると、こうも大きく書く力が伸び、変容することを見て頂くためです。
2年生ともなるとマスではなくたて13cm、幅1cmの15行に、漢字、ひらがな、カタカナを駆使して、モナリザを見た時の感動を書き表します。すごい成長と教育の力を感じます。まゆ毛や金の額など、細やかな観察力、鑑賞力は、すごいと思います。

2年 リー ベンジャミン



社会科見学

六年 吉良 有未

私は、パシフィック ニュートリション ルフーズへ社会科見学に行きました。建物に入ると、たくさん種類の豆腐が展示されていて、とてもおどろきました。まず、豆腐や製造機械について話を聞いてから、実際に見学させてもらいました。

豆腐は、日本が発祥地だと思っていたのですが、中国だと聞いておどろきました。大豆の生産量世界一は、アメリカで日本は十八位、大豆の消費量世界一は中国で、日本は十位だと知って、日本とアメリカのつながりを感じました。

この会社のすごさに感心したのは、豆腐を無菌状態で包装する技術を開発した所です。スーパーでは、冷蔵保存で、かつ賞味期限が短い豆腐が多いのですが、この技術のおかげで新鮮な豆腐を光とバクテリアから保護して、防腐剤を使わないうで長い期間保存できているからです。お土産に、にがりの豆腐を一つもらって帰りました。お母さんが、私以上に喜んでいました。

いつも、新鮮で体にやさしい豆腐が食べられことに感謝だと思いました。考える力や知識を身につけられるように今は、学校の勉強に努力していきたいです。



社会科見学に行つて

六年 廣田 瑛輔

今回社会科見学で2つの会社に行きました。一つは、「PNF」という会社で、もう一つは「WACOM」という会社です。

「PNF」では、特別な方法で長持ちする豆腐を作っています。実際に豆腐を作っているとところを見学し、固める前の豆乳を飲みました。普段豆乳が嫌いな僕もおいしいと思いました。工場では、どうやって豆腐を作っているか等を説明してもらいました。

まず、大豆を水に浸します。すると大豆が水を吸って膨らみます。膨らんだ大豆をすりつぶして、煮て、それをこして、冷ますと豆乳になります。それに凝固剤(タンパク質)を加え、殺菌します。その後、かき混ぜて、パッケージに入れてから2秒間だけ高温で温めます。そして、冷やすと豆腐ができるそうです。長持ちさせる秘けつは、細菌ゼロにすることで、そのために3回殺菌をしています。

工場内はとてもうるさいので、作業をしている人は皆耳栓をしています。僕達も耳栓をしました。オレゴンに会社があるのは、オレゴンの水がきれいだからだそうです。大豆はインディアナなどから輸送されるそうです。ほかにもいろいろな大豆について教えてもらってとても勉強になりました。

「WACOM」という名前は、ワールドの「ワ」とコンピュータと人の「和」を指すという意味も含まれているそうです。WACOMでは、スタイラスペンを作っていて、LAIKAというストップモーションの映画を作っている会社もそのスタイラスペンと専用のタブレットを使っているそうです。3Dのキャラクターを実際に作っているLAIKAの人にWACOMのテクノロジーを使って、どういうことをしているか説明してもらいました。

僕は、LAIKAの映画についての質問を答えたら、タブレットとスタイラスペンをもらいました。LAIKAの人がやっていた3Dドローイングをやってみたくなりました。



作文や報告文では、よく「何を書けばいいの?」「何も思いつかない!」と、言葉が出るときがあります。この二人のように、「知った喜び」「見た驚き」「感じたりやってみたりした興奮」などが強くあれば、伝えたい書きたい内容となり、悩むことはありません。また、1年、2年生時代の書く力が、6年生ともなると、ここまで高まっていくことがご理解いただけることと思います。

社会科見学をとおして、二人の知的好奇心が高まり、よく覚えているなど感心するほど細部にまで順序だてて書いています。6年生は、「日本」「日本人」「日本文化」を意識して、見学から得た知識、情報を比べて、日本とアメリカのつながりを確実に感じ取っています。